



R5. 3. 1 発行

早いもので、もう3月。お母さん、お父さんから離れて生活することに不安を感じ泣いていた子どもたち。今では園での生活にも慣れ、友だちや保育者と目を見つめあったり保育者に促され「かして」とジェスチャーを交えながら玩具の貸し借りなどやりとりをすることもできるようになりました。月齢の高い子は戸外に出られる事が嬉しいようで、りすぐみのお友達とも追いかけてっこをしたり、遊びを楽しむ姿が見られています。月齢の低い子は保育者と一緒に手を繋ぎ足取りもしっかりしてきたことで、歩いて散歩に出ています。また、保育者と一緒にオムツやズボンの脱ぎ穿きや自分の靴を持ってきてマジックテープを剥がそうとする等、園生活を送る中で「自分でやってみよう」とする姿が少しずつ見られるようになってきました。

「すごいね」「じょうずだね」とほめると喜び、繰り返し見せてくれたり、得意気な顔をしたりと一人ひとりいろいろな表情を見せてくれます。まだ1人で行うことは難しく援助が必要なので、「できた」ことを一緒に喜び、子ども達の自信や、やる気に繋げていきたいと思えます。ご家庭でもお子様が一生懸命取り組める時間を取り、成長を見守って頂ければと思います。今年度も残り1か月ですが、よろしくお願いします。



○ 今月のねらい ○

- 保育者の仲立ちにより、様々な人と関わることを楽しむ。
- 安心できる保育者と関わり、自分でしようとする気持ちを持つ。



活動内容



- 散歩(本町公園、徳石通り南広場、徳親公園、本園、そよかぜ公園、上宿公園等)
- 室内(巧技台、指先遊び、体操 等)

